届け 世界の果てまでも

令和4年7月1日　No．22　文責　校長　飯久保一男

働くということ

本校のめざす子ども像です。

①労をいとわず働く子
②自分を明るく表現できる子
③進んで学ぼうとする子
④思いやりがあり，礼儀正しい子
⑤健康でたくましい子

学校教育目標「**自分を大切にし，他者を大切にする子どもの育成**」とともに，これまで何人もの本校の校長が引き継ぎ，修正を重ねてきている子ども像です。「①労をいとわず働く子」には次の説明をつけています。

「働く」は「傍(はた)を楽(らく)にする」とも読み替え，将来の社会を構成していく子どもを育てることである。
「傍」とは他者を表し，傍を楽にするとは，役立つ人間になることである。
それは，他者を大切にすることになり，ひいては自分を大切にすることになる。

※傍を楽にするとは，仕事を肩代わりして相手の負担を軽くしてやるという意味ではありません。

「働く」を英語に訳すと「work」です。この英語の「work」には，他者を楽にするという意味はありません。また「work」には，本を読むことや宿題(home work)をすることなども含まれます。しかし，日本語では，本を読むことを「働く」とは言いません。たくさんあった宿題をやり終わったときに「よく働いたなぁ」とも言いません。日本語では，汗を流し，誰かに喜びを与えることを「働く」といいます。

…「work」の反対語は「play」とされます。「play」というのは「I play tennis」「I play the piano」というように道具などを使って楽しいことをするという意味です。「play」は日本語では「遊ぶ」とも訳されますが，日本語の「遊ぶ（遊び）」には，「play」とは違い，「何もしない」という意味があります。「不況で，会社の機械が遊んでいる」「ブレーキには遊びが２cm ほどあり，その２cm の間はブレーキが効かない」など，何もしていないことや何も作用しない部分のことをいいます。大人になっても働いていない人（就職していない人）に「いつまでも遊んでいないで…」と言うこともあります。「play」には何もしないという意味はありません。日本人独特の「遊ぶ（遊び）」についての解釈があるのです。

「働く」と「work」の意味の違いは，日本人と欧米の人々の働くということへの違いがよく表れています。日本語の「働く」という言葉には，何のために働くのかという意味が込められています。また，お金を得る・報酬を得るという意味はありません。しかし「work」を使う国では，どれだけ働いても給料は同じという考えから，仕事はお金のためと割り切って，余計な仕事は一切やらないという文化の国もあります。

「仕事」という言葉も「事(こと)に仕(つか)える」ことですので，報酬を得るという意味がありません。日本語の「働くこと」「仕事をすること」という言葉の本質は，お金を稼ぐことではなく，自分がいかに人に喜ばれることができるかということなのです。

人間が一番うれしいことはなんだろう？

やなせたかし（アンパンマン作者）

“人間が一番うれしいことはなんだろう？
長い間，ぼくは考えてきました。
そして結局，人が一番うれしいのは，人をよろこばせることだということがわかりました。
実に単純なことです。
人は人をよろこばせることが一番うれしい――”

長い人生を生きてきたが，
星の命に比べたら，百歳まで生きたって，瞬間に消え去っていくのと変わらない。
人間は，宇宙的にいえば，ごく短い間しか生きはしないのだ。
つかの間の人生なら，なるべく楽しく暮らしたほうがいい。
それでは，人は何が一番楽しいんだろう。
何が一番うれしいんだろう。
その答えが「よろこばせごっこ」だった。
母親が一生懸命に料理をつくるのは，
「おいしい」とよろこんで食べる家族の顔を見るのがうれしいからだ。
父親が汗をかいて仕事をするのは，
家族のよろこびを支えるためだ。
美しく生まれた人は，その美しさで人をよろこばせることができる。
学問が得意な人は学問で，絵を描ける人は絵を描くことで。歌える人は歌で。

人は，人がよろこんで笑う声を聞くのが一番うれしい。
だから，人がよろこび，笑い声を立ててくれる漫画を長く描いてきた。
自分が描いた漫画を読んで子どもたちがよろこんでくれる。
その様子を見て，自分がうれしくなる。
こうしてよろこばせごっこができることが本当に幸せだ。
あなたは何をして，よろこばせごっこをしていますか？

私たち教職員の仕事のモチベーションは，子どもたちに喜んでもらいたいという願いです。全ての子どもが，「今日１日楽しかった」と言える日が過ごせるよう，働いています。どの仕事もそうだと思いますが，私たちの仕事は，研究しても研究しても極められない奥の深いものであり，準備しても準備しても足りないものです。どれだけ働いても給料は同じかもしれませんが，本校の教職員は研究や準備に余念がありません。こと授業に関しては，どんなに研究や準備を重ねても，１００％イメージ通りにできることはほとんどありません。その反省を糧にして，次の授業に向けて研究し，準備をしています。子どもたちから「今日の授業はよくわかった」「今日は楽しかった」といった感想などがあるとそれまでの努力や苦労が報われます。私たち教職員はそのために働いています。４月当初から**「子どもたちのために学校がある」「教育活動の全ては子どもたちのために」**と確認して取り組んできています。